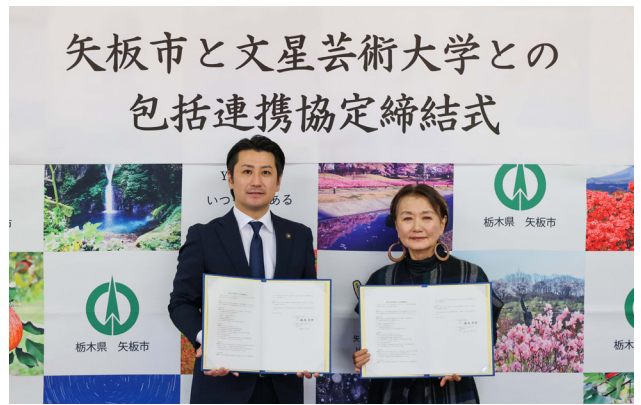




芸術の力で地域を元気に 文星芸術大学と包括連携協定を締結

2月13日市役所で、文星芸術大学様との包括連携協定締結式が行われました。本協定は、地域資源の再発掘や地域活性化、教育・文化の振興など6項目について連携するものです。田中学長は「各自治体で地域活性化が大きな課題となる中、芸術を通してその一助となりたい。市と学生が連携して課題解決型の調査や実践に取り組み、林業やリンゴ、ツツジなどの魅力をPRしながら、矢板市をさらに輝かせていければ」と話しました。



▲(左から)森島市長、文星芸術大学 田中学長

災害時の医療救護体制を強化 (公社) 県柔道整復師会と協定を締結

2月13日市役所で、(公社) 県柔道整復師会様との災害時の医療救護活動に関する協定締結式が行われました。本協定は、避難所や被災現場での応急処置や施術支援など、専門的な医療支援体制を構築するものです。田代会長は「災害は局地化の傾向もあり、状況に応じた対応が求められる。器具や環境が整わない場合も想定し、日頃から備えている。協定締結により、より迅速で円滑な活動につなげたい」と話しました。

災害時の医療救護活動に関する協定締結 〈矢板市・公益社団法人栃木県柔道整復師会〉



▲(左から)伊藤教育長、印南副市長、森島市長、(公社) 県柔道整復師会 田代会長、大下塩谷支部長

林野火災を想定して訓練実施 防災力強化に矢板市初・軽自動車の消防車追加

3月1日道の駅やいた周辺で、消防団春の訓練が実施されました。近年、全国で相次ぐ林野火災を想定し、川から取った水を消防車やポンプで連結・中継し、延焼現場まで届ける実践的な訓練が行われました。訓練後は市役所前で、新たに更新された消防車両と機械器具の交付式を実施。市で初めて、軽自動車の消防車両が配備され、団員からは「狭い道や前線近くまで進入できる」と、消防力のさらなる向上に期待する声が聞かれました。



株式会社JAエルサポート
JA'ss じゃすぼーと矢板SS 矢板市矢板183-1

灯油の配達おまかせください!
軽油・重油の配達もできます。
注文の手間が省けてお得にご利用
いただける灯油定期配達も!
詳しくは下記コールセンターまで!

LINE 友だち 募集中!!

0800-700-0085
※内容確認や対応品質向上のため、録音させていただきます。

矢板市で地域とともに創業66年
池田新聞店(下野新聞専売所)

【古紙回収キャンペーン】
スタッフが購読者宅の玄関先まで無料で回収に伺います。
「広報やいたを見た」とお伝えください。
今だけ古紙回収ご利用の方に粗品進呈。
古紙回収で得た収益は、地域や子どもたちのために役立てます。

【無料試読実施中】
お試しで7日間、
下野新聞を
読んでニヤー

0287-46-5353 有限会社 池田新聞店
新聞のご用命・ご相談は当店へ。 〒329-2163 矢板市鹿島町1-35



農業の未来を拓く 農業大賞受賞者が市長を表敬訪問

2月6日市役所で、第7回県農業大賞を受賞した皆さんが、市長を表敬訪問しました。

農業大賞は、本県の農業・農村を夢のある魅力的なものにしていくため、農業経営の改善や地域活性化、



芽吹き力賞 県知事賞
増田 佳久 様
増田 仁美 様

未開拓作物であるキャッサバを活用し、遊休農地の有効活用に取り組むとともに、栽培から流通まで一貫体制を構築。地域農業の新モデル確立に挑戦。

▲(左から) 増田 佳久さん、仁美さん、佳代子さん

新たな発想による取組を行う農業者・団体を表彰するものです。受賞者の皆さんは、それぞれの分野で先進的かつ意欲的な活動を続け、その功績が高く評価されたことを報告しました。



農村活性化の部 特別賞
水の郷 泉を守る会 様

農業者だけでなく、多数の非農業者が構成員となり、担い手の農地集積や地域の自然環境の維持、「地域をみんなで良くしよう」という意識醸成に寄与。

▲(左から) 代表 江連 茂さん、書記 中村 久信さん

祝・市内から3作品が最優秀賞受賞 県理科研究展覧会・発表会

第79回県理科研究展覧会・発表会で最優秀賞を受賞した児童・生徒を紹介いたします。



「庭でナミアゲハを育てよう」

東小学校 4年
本橋 樹季さん

庭の木に産み付けられたチョウの卵をきっかけに研究を始めました。図鑑やインターネットで調べながらナミアゲハの成長を観察し、色使いや図を入れるなど工夫してまとめました。今後チョウの研究を続けたいです。



「なんで巻きつく?アサガオの研究⑤
~つると支柱の太さの関係~」

泉小学校 5年
吉成 敦志さん

1年生からアサガオの研究を続けています。毎日決まった時間に観察し、変化を記録しながら研究を進めました。比較実験のため、アサガオ15株を管理するのに苦労しました。来年はさらに研究を深めていきたいです。



「空力パーツによるダウンフォースの研究」

矢板東高校附属中学校 2年
石井 克弥さん・磯 慎之助さん

車が速く走るために必要な空気の力について調べ、1/10の模型を作製して実験しました。2人で何度もアイデアを出し合い、パーツの改良を重ねました。発表は緊張しましたが、成果を出せてうれしいです。

40年の指導実績、この街の「元気の源泉」であり続けたい。
パシフィックスポーツプラザ

Instagram ホームページ 全店舗予約まとめページ

3月1日(日) 4月30日(木) 春のキッズスクール 体験教室開催

対象 3歳~ 小学6年生

毎週 1回 500円 最大5回まで

指定用品 ぜ〜んぶ 0円プレゼント

会場 桜花 40名

入会金 0円

スイミング 対象年齢 4歳以上

体育 対象年齢 5歳以上

パレエ 対象年齢 5歳以上

さくら店 栃木県さくら市榎野1633-2 TEL.028-682-0577

高校生団体 YAD 1日限定カフェオープン 地元食材のメニューでおもてなし

2月23日矢板ふるさと支援センター TAKIBIで、YADが高校生カフェをオープンしました。若手農業者団体「塩谷町4Hクラブ」様から、生産した野菜やいちごを提供いただき、定番メニューであるキーマカレーや新メニューのイチゴミルクプリンなどを提供。当日は約100人の来場者でにぎわいました。代表の栗原さんは「メンバー一同、心を込めて準備したメニューを多くの人に楽しんでもらえてとてもうれしい」と話しました。



◀キーマカレーとイチゴミルクプリン

“食”で広がる地域の輪 地域おこし協力隊に新たな力

3月2日市役所で、地域おこし協力隊の新規隊員・鈴木 琢弥さんの辞令交付式が行われました。鈴木隊員は、お弁当チェーン店3店舗のエリアマネージャーを務めた経験を生かし、「食」を通じた地域活性化を進めます。今後は地域資源や地元食材を活用した企画や、空き家・空き店舗の実態を把握しながら、将来は市内での飲食店開業を目指します。鈴木隊員は「人と人がつながれる場所づくりにチャレンジしたい」と抱負を語りました。



▲(左から) 印南副市長、鈴木隊員、森島市長

夢のその先へ 川崎 宗則選手講演会を開催

3月7日文化スポーツ複合施設で、矢板スポーツコミッションと(株)エイジェックによるコラボイベントとして、川崎 宗則選手(栃木ゴールデンブレーブス所属)による講演会「夢のその先へ」が開催されました。当日は、世界で活躍する川崎選手の話をお聴きと約300人が来場。川崎選手は幼少期のエピソードやメジャーデビューの裏側、夢について語り、「なんでもいい、とにかく夢中になること。夢に向かってがんばれ!」と子どもたちにエールを送りました。



▲入場時の様子

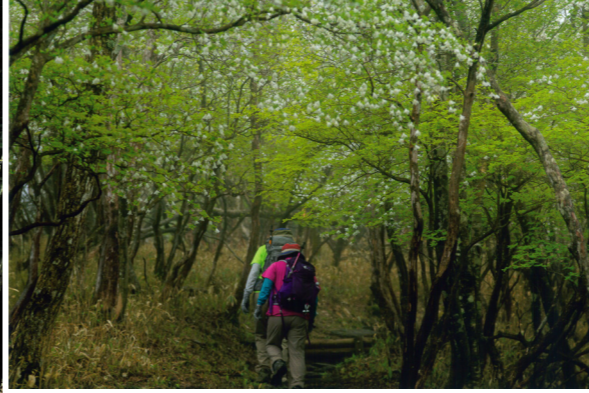


▲講演会後には抽選会が行われ、当選者に川崎選手のサイン入りグッズが贈られました。



川崎選手
ありがとうございました!

推薦「朝陽彩る」小林 正行



入選「シロヤシオの森」
伊奈 克枝



入選「百物揃武者行列」
金子 秀夫



入選「冬空に咲く大輪の花」
大塚 芳彦



佳作「雪原の朝、高原山」
ファウラー ジョージ



佳作「泉地区のかかし祭り」
島田 俊男

矢板の魅力が詰まった写真ばかりナリ!!



特選「天空に実りを願い」伊奈 実



特選「寺山の秋」室井 敦彦



佳作「力をあわせて」
松井 佳美



佳作「森を潤す」
石川 貞明



佳作「宵闇を彩る」
舟橋 哲次

ユース賞「おかえり」
長沢 千歳成



ユース賞「特等席は予約席」
高山 響矢



ユース賞「桜散る池」
鈴木 瀬七



第44回「やいたの四季」観光写真コンテスト

市内をはじめ全国から、47人97点の応募がありました。入賞作品は、ホームページにも掲載していますので、ぜひご覧ください。
問い合わせ/秘書広報課 ☎(43)3764



詳しくはこちら